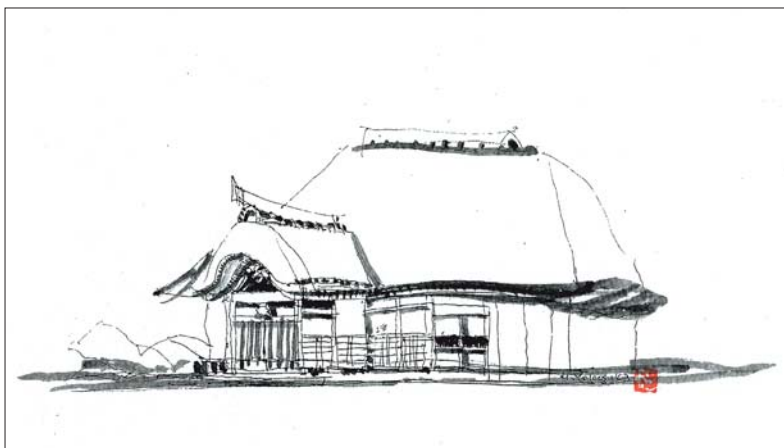




(2017-18年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリー：
変化をもたらす



県指定文化財「富岡家住宅」(土浦市)

駅そばについての考察 その2

戸羽 透 (情報サービス)

前回の補足ですが、M原駅の駅そばの経営会社は、駅弁も販売しているのですが、ステーキ弁当やます寿司はおいしかったことを付け加えておきます。

ところで、ビジネスに誠実さは必要不可欠だと思いますが、以前都内の駅そば店でこんなことがありました。

店員 「ご注文は？」

客A 「かけそば」

店員 「すみません。かけそばだけ、売り切れなんです。」

客A 怪訝そうな顔をして「じゃ、月見。」

店員 「ありがとうございます。」

次に並んでいた私は天玉そばを注文。後ろのコワモチの男性の順番で事件は起きました。

客B 「かけそば」

店員 「すみません。かけそばだけ、売り切れなんです。」

客B 「そばがないのか？」

店員 「そばはあります。」

客B 「じゃ、かけ。できないのなら、店のため！」と怒鳴る。

店員 「は、はい、かけそばですね。」

他人事ながら、心のモヤモヤが晴れた瞬間でしたが、月見そば氏は無表情にそばをすすっていました。これは、売上アップの秘策かもしれませんが邪道中の邪道ですね。

今回、ご紹介したいのは、単独行で訪れた常磐線我孫子駅の「弥生軒」です。ここは、上り、下りホームで3店舗営業しており、行きも帰りも利用できます。当店のイチオシは唐揚げそば。こぶし大の鶏の唐揚げが二個ものっている超高カロリーの一品です。この唐揚げは、単品でも注文でき出汁をかけて出してくれ、高級店の「天抜き」ならぬ唐揚げ抜きのような粋な食べ方もできるのです。

訪問時、ほとんどの人が唐揚げそばを注文していました。私も、唐揚げそば(1個)を注文。唐揚げやコロッケなど普通のそば店では出さないそばがいただけるのも、駅そばの魅力です。

サクサクの唐揚げの衣が時間とともにダルダルに汁に溶け出し、コクが出て、まさかの唐揚げとそばがよく合うのです。唐揚げ1個で十分お腹いっぱいとなりました。

この弥生軒、正式商号は合名会社彌生軒といい、昭和3年の設立という老舗で山下清画伯が働いていたというエピソードもあります。特急が止まらないのが難点ですが、一度いかがでしょうか。

また、我孫子の駅近にはナポリタン、メンチカツ、ハイボールを頼んでも1,000円でお釣りがくるコピアン、コピアンII世という洋食店があり、とても魅力的です。

No. 22 2017・12・5

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 砂押 憲正 ■幹事 衣笠 勤

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



I 学校概要

本校は、平成11年に開校して、今年度で19年目を迎えます。軽度の知的障害のある生徒を対象とした、県内で唯一の高等部だけの特別支援学校です。

産業科を設置して、1学年48名、現在144名の生徒が学んでいます。教育目標は、「職業教育を主とした学習をとおして、企業への就労を目指す」ことです。全县から集まっていますので、寄宿舎を併設していますが、基本的には自力通学ができる生徒です。生徒・教職員共通スローガンとして「Keep on Smiling (笑顔でいこう)」、「Be a role Model (お手本になろう)」、「Only One in Japan (日本でただ一つ)」を掲げ、高い志をもって取り組んでいます。

授業の内容ですが、一般的な教科の他に、「職業」の時間が核となり8つの専門教科（クリーニング、ソーイング、グリーンサービス、フードデザイン、ウッドクラフト、メタルデザイン、ビルメンテナンス、総合サービス）に分かれて、週12時間、年間420時間行っています。専門教科は、1年生が8コースをすべて履修し、2年になるときに一つのコースを選択して2年間継続します。働く力、働き続けるための基礎的な力をそれぞれのコースで学びます。

学校行事や部活動も力を入れています。多彩な活動をとおして、「最後まで取り組めた」「自分もやればできる」と自信をもち、自己肯定感や自己有用感を得られるようにしています。

寄宿舎では、働き続けるための土台となる基本的生活習慣を学びます。1年生は全員、2・3年生は通学時間の長い生徒など96名が入舎しています。このような取り組みをとおして、働き続けるための心と体を育てています。

II 働き続けるために

働く力を付けるために、就業体験を段階的に実施しています。1年生は、経験と職業選択の幅を広げるために校内実習と短期間の現場実習を行っています。2年生は、適性を見極める目

的で、1～2週間の現場実習を行っています。3年生は、進路決定を目指して3週間の現場実習を行っています。

1年生の校内実習は、体育館でラインを組んだ工場方式を取り入れ、企業からの部材の提供を受けてより現場に近い形にしています。全員立ち仕事の基本で、1日7時間～8時間労働しますが、ときには残業もあります。給食は社員食堂に、寄宿舎は社員寮になり、保護者の参観も自由です。1年生は、この2週間の校内実習をやり遂げたことが自信となり、顔つきが変わります。

現場実習は、社会人・職業人としての在り方を学ぶとともに働く力がどの程度ついたか、自分の適性は何かを知る機会でもあります。企業にとってもジョブマッチングを観察できる利点があります。

水耕栽培の会社、ファミリーレストラン、スーパー、保育園、ホテル、製造関係の会社など様々な業種で実施しています。在学中から卒業後の定着支援も見据えて、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、茨城障害者職業センターなどと連携しています。

卒業生の進路状況ですが、就職を希望する生徒の就職率は、平成26～28年度の3年間、100%です。産業別就職先は、製造業45%、医療福祉・卸売・小売・サービス業はそれぞれ15%となっています。雇用形態は、正社員、準社員、規約社員等様々ですが、更新され長く続くケースがほとんどです。また、勤務時間は、4分の3は、7時間以上です。

生徒達は、将来働いて、自立したいと思って学んでいます。しかし、知的な遅れがあり「直ぐに仕事が覚えられない。」「指導されている意味が分からない。」などの傾向があります。そのような時は、「長い目で成長を見守る。」「具体的に話す。言葉で分からないときは、視覚的に示す。」などの配慮があれば、一生懸命仕事をします。休まず根気強く仕事をします。必ず、企業の力になります。是非、生徒の「働きたい」を応援してください。現場実習のご協力や校内実習の仕事の提供ができる企業・事業所がありましたら、本校まで連絡をいただければ幸いです。本日は、ありがとうございました。

◇ ゲスト紹介

茨城県立水戸高等特別支援学校

校長 岡部しのぶ 先生

進路指導 杉山 雄平 先生

青少年長期交換学生

レベッカ キャサリン デイリーさん

◇ 長期交換派遣生報告

レベッカ キャサリン デイリーさん



8月に日本に来ましたが、時間が非常に速くなったように感じます。11月は穏やかな月でした。友達と一緒に旅行に行くことができました。彼女の住んでいる町に行き、彼女の

家族にも会いました。とても楽しかったです。それから袋田の滝を見てうどんを食べました。日本の田舎は木の葉が色を変える秋がとても美しいです。神社に行って団子を食べることができました。うまく説明することはできませんが、この旅行の間に、異文化交流していることを実感しました。また筑波大学の文化祭にも行きました。日本の文化をもっと体験しなければならぬと思いました。アメリカでは文化祭というものがないので、新しい体験でした。私は広島風お好み焼きを初めて食べました。茶道を通じて新しい友達もできました。来年、私の学校が文化祭を開催することを楽しみにしています。11月は非常にいい月でした。勉強する時間が多くありました。12月の新しい目標は漢字の学習に取り組むことです。11月に予定したことがあまりできていなかったにもかかわらず、とても充実した月だったと思います。

◇ 会長の時間

砂押会長

12月第一例会の本日は、茨城県立水戸高等特別支援学校での移動例会です。水戸RCは今までに吉沢町の水戸特別支援学校での移動例会を数回実施して参りましたが、今回は前年度の職業奉仕委員長の高沢副会長と現中村職業奉仕委

員長の計らいで、茨城県立水戸高等特別支援学校に45名の会員と青少年交換学生のレベッカさんと訪問できましたことに感謝申し上げます。

私は大洗鹿島線での通勤時に、朝8時過ぎに常澄駅で降りる学生さんたちが元気に会話をしながら学校へ通う姿を、とてもすがすがしく拝見していました。今日は、将来に向かって働き続けるために、そして社会人・職業人になる生徒さんたちの授業風景や学校の環境などを見学させて頂きます。また今回の移動例会に関わられました皆様のご協力感謝申し上げます。

◇ 出席報告

沼田委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
114名	45名	69名	45.45%

前週訂正出席率 70.37%

前々週訂正出席率 70.37%

◇ 会員メイクアップ

11/12 青少年交換委員会 磯崎 寛也

11/28 日立RC 磯崎 寛也

12/ 1 水戸南RC 石島 弘之

12/ 2 国際奉仕セミナー

井上 壽博、宮田 武範

12/ 3 青少年交換委員会 沼田 元良

12/ 4 水戸さくらRC 横須賀満夫

12/ 5 しもだて紫水RC 井上 壽博

◇ 幹事報告

衣笠幹事

1. 地区社会奉仕・ロータリー財団合同研修セミナーが開催されます。

とき 12月10日(日)

登録 9:30

セミナー 10:00~14:30

ところ ダイヤモンドホール

(筑西市玉戸1053-4)

TEL 0296-28-8511

出席者 櫻場 誠二社会奉仕委員長

益子 一彦ロータリー財団委員長

2. 12月より、ロータリーレートは 1ドル、

112円（旧行レート114円）となりました。
ロータリー財団寄付に適用されます。

3. 会計より、ロータリー財団BOX・米山BOXへの献金についてのお願い

控除証明書等の手続きの為、平成29年度分のロータリー財団BOX・米山BOXへの献金は、12月第2例会の12月12日(火)までとさせていただきます。ご協力をお願い致します。

4. 近隣クラブ例会日時臨時変更及び休会のお知らせ

- ・水戸南RC 12月8日(金)
一定款第8条第1節により休会—
15日(金) 18:30
29日(金)
一定款第8条第1節により休会—
- ・水戸さくらRC 12月18日(月) 18:30
於 中川楼
25日(月) 12:30
- ・水戸西RC 12月20日(水) 17:30
於 山口楼 本店
27日(水)
一定款第8条第1節により休会—
- ・水戸東RC 12月22日(木) 18:30
(忘年家族例会)
28日(木)
一定款第8条第1節により休会—

◇ 定例理事会報告

日時：12月5日(火) 18:30～19:15

場所：水戸京成ホテル 景山

- 議題
- 1) 新年家族会について
 - 2) 2017～2018年度地区委員推薦について
 - 3) 留学生を囲む会について
 - 4) 12月・1月の例会プログラムについて
 - 5) 会計報告

疾病予防と治療月間

ロータリーは、

誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人とされています。質の高い医療を受ける権利は全ての人にあると、私たちは信じています。

世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人々がより良い医療を利用できるよう支援しています。

病気は何もせずに予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、私たちロータリー会員は、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に関する市民への指導など、世界で毎日、数百ものプロジェクトを実施しています。

—国際ロータリーニュースより—



週報担当 秋山 現信 委員

例 会 予 告

12月19日(火)
—イニシエーションスピーチ—
卓話「私の生き立ちと趣味」
松本健一郎 会員

12月26日(火)
一定款第8条第1節により休会—

2018年
1月 2日(火)
—三箇日に付き休会—